

土井剛彦、伊藤健吾、加藤隆司、下方浩史、鷺見幸彦、遠藤英俊、鈴木隆雄：地域高齢者における内側側頭葉の脳萎縮と日常生活活動との関係。第46回日本理学療法学会学術大会、2011年5月27日、宮崎。

46) 下方浩史、安藤富士子：日常生活機能と骨格筋量、筋力との関連。若手企画シンポジウム2「サルコペニア—研究の現状と未来への展望」。第53回日本老年医学会学術集会。2011年6月16日、東京。

47) 竹村真里枝、松井康素、原田敦、安藤富士子、下方浩史：地域在住中高者年の骨粗鬆症有病率と実際の治療率の検討。第53回日本老年医学会学術集会。2011年6月16日、東京。

48) 松井康素、竹村真里枝、原田敦、安藤富士子、下方浩史：握力による骨量減少および骨粗鬆症の発症の予測—地域在住中高年者を対象とした疫学縦断研究。第53回日本老年医学会学術集会。2011年6月16日、東京。

49) 洪英在、岡村菊夫、高橋龍太郎、下方浩史、児玉寛子、遠藤英俊、井藤英喜：高齢者医療における優先度調査—Web調査における一般、医師、看護師の相違。第53回日本老年医学会学術集会。2011年6月16日、東京。

50) Kozakai R, Ando F, Kim HY, Lee SC, Nishita Y, Tange C, Shimokata H: The

effect of depression on the participation in the exercise habits in community-dwelling Japanese older people. The 16th Annual Congress of the European College of Sports Science, 9th, Jul, Liverpool.

51) 安藤富士子、下方浩史：血清カロテノイドが骨密度に与える影響～酸化要因・抗酸化要因に着目した大規模縦断研究～。果樹試験研究推進協議会委託試験研究課題成果発表会、2011年7月7日、東京。

52) Ando F, Takemura M, Matsui Y, Shimokata H: Prevalence and Consultation Rates of Life-Style Related Diseases in Japanese Middle-Aged and Elderly Women. IEA World Congress of Epidemiology, 7-11, Aug, 2011. Edinburgh.

53) Doi T, Shimada H, Makizako H, Yoshida D, Shimokata H, Ito K, Washimi Y, Endo H, Suzuki T: Whole Brain Atrophy and Spatiotemporal Gait Parameters during Dual-task Gait. Alzheimer's Association International Conference, Paris, July 19, 2011.

54) Yoshida D, Shimada H, Makizako H, Doi T, Ito K, Kato T, Shimokata H, Washimi Y, Endo H, Suzuki T: The relationship between atrophy of the medial temporal area and daily

activities in community-dwelling older adults. Alzheimer's Association International Conference, Paris, July 19, 2011

55) Shimokata H: Longitudinal study. Japan International Cooperation Agency (JICA) lecture, Obu, Sep 1, 2011.

56) Ando F, Kato Y, Otsuka R, Imai T, Matsui Y, Takemura M, Shimokata H: The effects of serum carotenoids on bone mineral density in community-dwelling Japanese middle-aged and elderly women. The 9th Asia / Oceania Congress of Geriatrics and Gerontology, Melbourne, October 26, 2011.

57) 金興烈、李成喆、幸篤武、森あさか、安藤富士子、下方浩史：中高年齢者の相対歩幅と歩行速度（無次元速度）に関する研究。日本未病システム学会 2011 年 11 月 20 日、名古屋。

58) 安藤富士子、今井具子、加藤友紀、大塚礼、松井康素、竹村真里枝、下方浩史：血清カロテノイドと 2 年後の骨粗鬆症／骨量減少発症リスク。日本未病システム学会 2011 年 11 月 19 日、名古屋。

59) 西田裕紀子、丹下智香子、富田真紀子、安藤富士子、下方浩史：地域在住中高年齢者の余暇活動と知能。第 18 回日本未病システム学会学術総会、2011 年 11 月 19 日、名古屋。

60) 李成喆、幸篤武、森あさか、丹下智香子、安藤富士子、下方浩史：地域在住高齢者の身体活動と認知機能に関する縦断的研究。第 18 回日本未病システム学会学術総会、2011 年 11 月 19 日、名古屋。

61) 丹下智香子、西田裕紀子、富田真紀子、安藤富士子、下方浩史：成人後期における日常生活活動能力と主観的幸福感の関連に認知機能が及ぼす影響。第 18 回日本未病システム学会学術総会、2011 年 11 月 20 日、名古屋。

62) 岡村菊夫、大菅陽子、安藤富士子、下方浩史：下部尿路症状とテストステロン～長期縦断疫学研究。第 2 回テストステロン研究会、2011 年 11 月 25 日、福岡。

63) 安藤富士子、西田裕紀子、下方浩史：喫煙・禁煙が知能の加齢変化に及ぼす影響－地域在住中高年齢者を対象とした 6 年間の縦断研究－。第 13 回日本健康支援学会、2012 年 2 月 19 日、筑波。

64) 森山雅子、西田裕紀子、丹下智香子、富田真紀子、坪井さとみ、安藤富士子、下方浩史：定年退職後の就労と心理的健康の変化との関連。日本発達心理学会、2012 年 3 月 9 日、名古屋。

65) 西田裕紀子、丹下智香子、富田真紀子、森山雅子、坪井さとみ、安藤富士子、下方浩史：中高年齢者の開放性は知能の維

持に役立つか～線形混合モデルを用いた  
8年間の縦断的検討. 日本発達心理学会、  
2012年3月9日、名古屋.

66) 富田真紀子、西田裕紀子、丹下智香  
子、森山雅子、坪井さとみ、安藤富士子、  
下方浩史：中高年有職女性の仕事コミッ  
トメントと抑うつとの関連～年齢および就  
業形態の調整効果. 日本発達心理学会、  
2012年3月9日、名古屋.

67) 丹下智香子、西田裕紀子、富田真紀  
子、森山雅子、坪井さとみ、安藤富士子、  
下方浩史：成人後期の主観的幸福感と日  
常生活活動能力の関連に対する家族内役  
割の影響. 日本発達心理学会、2012年3  
月9日、名古屋.

68) 吉田英世、吉田祐子、熊谷修、木村  
美佳、岩佐一、鈴木隆雄：地域在住高齢  
者の QOL に影響をもたらす要因の解明  
－WHO-5 による評価－. 第 70 回日本公  
衆衛生学会、秋田. 2011.10.19-21

69) 吉田祐子、岩佐一、熊谷修、吉田英  
世. 地域高齢者における健康情報の収集  
と基礎的ヘルスリテラシーの関連. 第 53  
回日本老年社会科学会、東京.  
2011.6.16-17

70) 松井康素、竹村真理枝、原田敦、安  
藤富士子、下方浩史：ロコモティブシン  
ドロームのチェック項目の妥当性の検討  
～ロコモチェックの有無による各種運動能  
力の比較. 日本整形外科学会、2012年5  
月9日、京都

71) Shimokata H: Longitudinal study.  
Japan International Cooperation  
Agency (JICA) lecture, Obu, May 31,  
2012.

72) 西田裕紀子、丹下智香子、富田真紀  
子、坪井さとみ、福川康之、安藤富士子、  
下方浩史：高教育歴は高齢者の知能の維  
持に役立つか－10年間の縦断的検討. 日  
本老年社会科学会第54回大会、2012年  
6月9日、佐久.

73) 下方浩史：老化に影響する遺伝子多  
型. シンポジウム「論より証拠－疫学か  
ら見た健康長寿のエビデンス」. 第12回  
日本抗加齢医学会総会、2012年6月24  
日、横浜.

74) 下方浩史：疫学研究からのサルコペ  
ニアとそのリスク－特に栄養との関連.  
疫学研究からのサルコペニアとそのリス  
ク－特に栄養との関連. シンポジウム「高  
齢者の「サルコペニア」ならびに「虚弱」  
とその対策」. 第54回日本老年医学会学  
術総会、2012年6月26日、東京.

75) 下方浩史：検査基準値の考え方－医  
学における正常と異常－シンポジウム  
「生活自立を指標とした生活習慣病の検  
査基準値」. 第54回日本老年医学会学術  
総会、2012年6月27日、東京.

76) 杉浦彩子、内田育恵、中島務、新野  
直明、李成喆、安藤富士子、下方浩史：  
地域在住中高齢者の難聴と転倒、重心動

揺との関連. 第 54 回日本老年医学会学術総会、2012 年 6 月 27 日、東京.

77) 内田育恵, 杉浦彩子, 中島務, 安藤富士子, 下方浩史: 肥満の有無に着目した 10 年後の難聴発症リスク要因の検討 - 「老化に関する長期縦断疫学研究 (NILS-LSA)」より. 第 54 回日本老年医学会学術総会、2012 年 6 月 27 日、東京.

78) 松井康素, 竹村真里枝, 原田敦, 安藤富士子, 小坂井留美, 下方浩史: ロコモティブシンドローム (ロコモ) とサルコペニアの関連. 第 54 回日本老年医学会学術総会、2012 年 6 月 27 日、東京.

79) 大塚礼, 加藤友紀, 西田裕紀子, 丹下智香子, 今井具子, 安藤富士子, 下方浩史: 地域在住高齢男女における n-3 系および n-6 系多価不飽和脂肪酸摂取量と認知機能との関連. 第 54 回日本老年医学会学術総会、2012 年 6 月 27 日、東京.

80) 加藤友紀, 大塚礼, 西田裕紀子, 丹下智香子, 今井具子, 安藤富士子, 下方浩史: 中高年者の抑うつに及ぼすアミノ酸摂取量の影響 - 地域住民における縦断的解析 -. 第 54 回日本老年医学会学術総会、2012 年 6 月 27 日、東京.

81) 安藤富士子, 大塚礼, 加藤友紀, 丹下智香子, 西田裕紀子, 下方浩史: 中高年女性の貧血の危険因子 - 8 年間の縦断データの解析 -. 第 54 回日本老年医学会学術総会、2012 年 6 月 26 日、東京.

82) 松井康素, 竹村真里枝, 原田敦, 安藤富士子, 李成喆, 下方浩史: 地域在住中高年者の膝関節痛と膝伸展筋力の関連. 第 4 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会総会、2012 年 7 月 19 日、宜野湾.

83) 下方浩史: 中高年者の栄養と運動 - 長期縦断疫学研究から. シンポジウム「成人向け保健指導とヘルスプロモーション」、第 60 回日本教育医学会記念大会、2012 年 8 月 26 日、筑波.

84) 丹下智香子, 西田裕紀子, 富田真紀子, 坪井さとみ, 福川康之, 安藤富士子, 下方浩史: 成人後期の主観的幸福感に対する日常生活活動能力および個人背景要因の影響. 日本心理学会第 76 回大会 川崎、2012 年 9 月 12 日.

85) 大塚礼, 加藤友紀, 今井具子, 安藤富士子, 下方浩史: 地域在住中高年男女における年齢群別の DHA と EPA 摂取量の推移 (10 年間). 第 59 回日本栄養改善学会、名古屋、2012 年 9 月 14 日

86) 幸篤武, 李成喆, 小坂井留美, 金興烈, 安藤富士子, 下方浩史: 中高年男性における余暇身体活動強度と血清遊離テストステロン濃度の関連. 第 67 回日本体力医学会大会、岐阜、2012 年 9 月 15 日.

87) 富田真紀子, 西田裕紀子, 丹下智香子, 安藤富士子, 下方浩史: 中高年者のワーク・ファミリー・コンフリクトとフ

アシリテーション. 日本心理学会第 76 回大会、川崎、2012 年 9 月 13 日.

88) 加藤友紀, 大塚礼, 今井具子, 安藤富士子, 下方浩史: 地域在住中高年者のアミノ酸摂取量に関する疫学研究. 第 59 回日本栄養改善学会、名古屋、2012 年 9 月 14 日.

89) 西田裕紀子, 丹下智香子, 富田真紀子, 坪井さとみ, 福川康之, 安藤富士子, 下方浩史: 高齢者における知能と抑うつとの相互関係—交差遅延効果モデルの検討—. 日本心理学会第 76 回大会、川崎、2012 年 9 月 11 日.

90) 李成喆, 幸篤武, 金興烈, 小坂井留美, 西田裕紀子, 丹下智香子, 安藤富士子, 下方浩史: 地域在住中高年齢者の体力が認知機能に及ぼす影響に関する縦断的研究. 第 67 回日本体力医学会大会、岐阜、2012 年 9 月 14 日.

91) 金興烈, 李成喆, 幸篤武, 小坂井留美, 安藤富士子, 下方浩史: 中高年齢者の歩幅と歩調に影響を与える関連要因. 第 67 回日本体力医学会大会、岐阜、2012 年 9 月 15 日.

92) 小坂井留美, 安藤富士子, 金興烈, 李成喆, 幸篤武, 下方浩史: 運動経験のない中高年齢者における運動習慣開始の要因. 第 67 回日本体力医学会大会、岐阜、2012 年 9 月 14 日.

93) 松井康素, 竹村真里枝, 原田敦, 安藤富士子, 下方浩史: ロコモティブシンドロームチェック項目と SF36 身体機能との関連. 第 14 回日本骨粗鬆症学会、新潟、2012 年 9 月 29 日

94) 下方浩史, 安藤富士子: かくれ肥満は生活習慣病のリスクとなるか—8 万人での 10 年間の大規模縦断研究. 第 33 回日本肥満学会、京都、2012 年 10 月 12 日.

95) 下方浩史, 健康長寿社会を築く長期縦断疫学研究、特別講演、第 19 回日本未病システム学会総会、金沢、2012 年 10 月 27 日.

96) 安藤富士子, 大塚礼, 北村伊都子, 甲田道子, 下方浩史: 「かくれメタボ」の日本人有所見者数の推計—無作為抽出地域住民コホート NILS-LSA から. 第 33 回日本肥満学会、京都、2012 年 10 月 11 日.

97) 丹下智香子, 西田裕紀子, 富田真紀子, 安藤富士子, 下方浩史: 成人後期の主観的幸福感に対する配偶者の有無と対人関係の影響. 第 19 回日本未病システム学会総会、金沢、2012 年 10 月 27 日.

98) 堀川千賀, 大塚礼, 加藤友紀, 河島洋, 柴田浩志, 安藤富士子, 下方浩史: トリグリセリド高値の者における血清脂肪酸の特徴 ~地域在住の中高年齢男女における検討~ 第 19 回日本未病システム学会総会、金沢、2012 年 10 月 28 日.

99) 金憲経、小島成実、金美芝、山城由華吏、須藤元喜、吉田英世、齋藤京子、吉田祐子、平野浩彦、鈴木隆雄：膝痛高齢者を対象に実施した運動及び温熱療法の効果検証 体力に及ぼす影響。第 71 回日本公衆衛生学会，山口。2012. 10. 24-26

100) Yamada K and Matsushita K: High concentration of glucose activates migration and proliferation of human skin keratinocytes through inducing active release of HMGB1. The Clinical Symposium on Advances in Skin & Wound Care. Oct 23, 2012, Las Vegas, USA.

101) 萩原真、磯田竜太郎、加藤佳子、石田直之、小林かおる、松下健二：「一酸化窒素を制御する食品由来因子の探索」第 45 回日本食生活学会大会 2012/10/13

102) Sakashita R, Watanabe K, Hamada M, Matsushita K, Nishitani M, Nishihira T : A MULTIDISCIPLINARY COMMUNITY CARE PROGRAM FOCUSING ON ORAL HEALTH. The International Council of Nurses (ICN) 2011, May 5, 2011, Malta.

## G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

### 1. 特許取得

特許 第 4586120 号・太田成男、鈴木吉彦、下方浩史、安藤富士子・血管障害性が

関与する疾患の易罹患性の判定方法・国立長寿医療研究センター、東洋紡株式会社・平成 22 年 9 月 17 日

特願 2011-241907・百合野以子、佐藤恵一、笠井康弘、下方浩史、安藤富士子・骨粗鬆症リスク判定システム及びプログラム・株式会社日立ソリューションズ・平成 23 年 11 月 4 日

## 2. 実用新案登録

なし

## 3. その他

なし

## Ⅱ. 研究成果の刊行に 関する一覧表

## 書籍

| 著者氏名                          | 論文タイトル名                               | 書籍全体の編集者名                             | 書籍名   | 出版社名                 | 出版地 | 出版年  | ページ     |
|-------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---|----------------------|-----|------|---------|
| 下方浩史                          | 栄養疫学                                  | 沖増 哲、前<br>大道教子、松<br>原知子(編)            | ウェルネス公衆栄養<br>学改訂第8版   | 医歯薬出版                | 東京  | 2010 | 57-79   |
| 松下健二                          | 高齢者の口腔・歯科疾患<br>と免疫能                   | 鈴木隆雄                                  | 高齢者の口腔機能<br>とケア Advances<br>in Aging and<br>Health Research<br>2009 | 財団法人<br>長寿科学<br>振興財団 | 東京  | 2010 | 79-87   |
| 下方浩史、<br>安藤富士子                | サルコペニアのスクリー<br>ング指標                   | 鈴木隆雄(監<br>修)、島田裕<br>之(編集)             | サルコペニアの基礎<br>と臨床  | 真興交易                 | 東京  | 2011 | 72-80   |
| 原田敦、松<br>井康素、下<br>方浩史         | 認知症高齢者と骨粗鬆症<br>との関連は                  | 武藤芳照、鈴<br>木みずえ<br>(編)                 | 認知症高齢者の転<br>倒予防とリスクマネ<br>ジメント                                       | 日本医事<br>新報社          | 東京  | 2011 | 51-54   |
| 安藤富士<br>子、下方浩<br>史            | 更年期以降、メンタルヘル<br>スに影響を与えるその他の<br>因子    | 太田博明<br>(編)                           | ウェルエイジングの<br>ための女性医療  | メディカル<br>ビュー社        | 東京  | 2011 | 145-150 |
| 下方浩史、<br>安藤富士<br>子、葛谷雅<br>文、他 |                                       | 下方浩史<br>(編)                           | 高齢者検査基準値<br>ガイド   | 中央法規                 | 東京  | 2011 | 1-402   |
| 細井孝之<br>他39名                  |                                       | 骨粗鬆症の<br>予防と治療<br>ガイドライ<br>ン作成委員<br>会 | 骨粗鬆症の予防と<br>治療ガイドライン<br>2011年版                                      | ライフサ<br>イエンス<br>出版   | 東京  | 2011 | 1-56    |
| 下方浩史                          | 栄養疫学                                  | 沖増 哲、前<br>大道教子、松<br>原知子(編)            | ウェルネス公衆栄養<br>学改訂第9版   | 医歯薬出版                | 東京  | 2012 | 103-124 |
| 幸篤武、安<br>藤富士子、<br>下方浩史        | わが国におけるサルコペ<br>ニアの診断と実態－日本<br>人における診断 | 葛谷雅文、雨<br>海照祥編                        | サルコペニア－その<br>成因と栄養・運動   | 医歯薬出<br>版            | 東京  |      | 印刷中     |
| 加藤友<br>紀、安藤<br>富士子、<br>下方浩史   | サルコペニアの栄養ケア<br>BCAA                   | 葛谷雅文、<br>雨海照祥編                        | サルコペニア－そ<br>の成因と栄養・運<br>動   | 医歯薬出<br>版            | 東京  |      | 印刷中     |

| 著者氏名                       | 論文タイトル名   | 書籍全体の編集者名   | 書籍名   | 出版社名               | 出版地 | 出版年  | ページ     |
|----------------------------|---|---|---|--------------------|-----|------|---------|
| 幸篤武、<br>安藤富士<br>子、下方<br>浩史 | 罹患の実態について教えて<br>ください  | 関根里恵、小<br>川純人編  | サルコペニアQ&A<br>～高齢者における<br>筋量減少・筋力低下<br>にどう対応するべき<br>か？     | フジメディ<br>カル出版      | 東京  |      | 印刷中     |
| 安藤富士<br>子、下方<br>浩史         | サルコペニアを起こす高齢<br>者の特徴は？  | 関根里恵、<br>小川純人編  | サルコペニアQ&A<br>～高齢者における<br>筋量減少・筋力低<br>下にどう対応する<br>べきか？     | フジメ<br>ディカル<br>出版  | 東京  |      | 印刷中     |
| 松下健二                       | 第2章3. 慢性炎症－慢性<br>炎症の分子的共通基盤                                     |   | 慢性炎症としての歯<br>周病へのアプローチ<br>－生涯を通して患<br>者さんのQOLに貢<br>献するために | 医歯薬出<br>版          | 東京  |      | 印刷中     |
| 松下健二                       | 第2章4. 自然炎症としての<br>歯周病   |   | 慢性炎症としての歯<br>周病へのアプローチ<br>－生涯を通して患<br>者さんのQOLに貢<br>献するために | 医歯薬出<br>版          | 東京  |      | 印刷中     |
| 松下健二                       | 第2章5. 血管の炎症から<br>みる歯周病  |   | 慢性炎症としての歯<br>周病へのアプローチ<br>－生涯を通して患<br>者さんのQOLに貢<br>献するために | 医歯薬出<br>版          | 東京  |      | 印刷中     |
| 細井 孝<br>之                  | Ⅱ.運動器の評価<br>2. ロコモの疑いの人の<br>診察法<br>3) 主な疾患の診断と保<br>存治療<br>⑧骨粗鬆症 | 中村耕三  | ロコモティブ シ<br>ンドローム   | メディカ<br>ルレ<br>ビュー社 | 東京  | 2012 | 167-175 |
| 細井 孝<br>之                  | Ⅱ.病態・疾患別のガイ<br>ドライン<br>代謝性骨疾患1（骨粗<br>鬆症）<br>骨粗鬆症の評価・治療指<br>針    | 中村耕三  | 運動器診療 最新<br>ガイドライン  | 総合医学<br>社          | 東京  | 2012 | 182-187 |
| 細井 孝<br>之                  | 第1章 高齢者に多い疾<br>患に対する薬の使い方<br>1)骨粗鬆症(Q13～Q16)                    | 編集/桑島<br>巖  | 高齢者の薬よろず<br>お助け<br>Q&A100                                 | 羊土社                | 東京  | 2012 | 39-50   |
| 細井 孝<br>之                  | 第4章 ロコモティブシ<br>ンドロームと遺伝子多型<br>性                                 | 日本栄養・<br>食糧学会監<br>修<br>田中清、上<br>西一弘、近<br>藤和雄、責<br>任編集 | ロコモティブシン<br>ドロームと栄養                                       | 建帛社                | 東京  | 2012 | 55-64   |

| 著者氏名      | 論文タイトル名   | 書籍全体の編集者名                      | 書籍名                             | 出版社名         | 出版地 | 出版年  | ページ     |
|-----------|---|--------------------------------|---------------------------------|--------------|-----|------|---------|
| 細井 孝<br>之 | VI 骨粗鬆症の治療<br>2. 骨粗鬆症の治療薬<br>6) その他 (カルシトニン、ビタミンK, イプリフラボン) |                                | 骨粗鬆症診療ハンドブック<br>改訂5版            | 医薬ジャーナル社     | 東京  | 2012 | 320-330 |
| 細井 孝<br>之 | 4.骨粗鬆症 4.1 骨粗鬆症の概念と分類                                       |                                | 高齢者用食品の開発と展望                    | 株式会社シーエムシー出版 | 東京  | 2012 | 23-28   |
| 細井 孝<br>之 | A.骨粗鬆症の評価と指針<br>1.「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2011年版」の概要とおもな改訂点        | 編集：大内尉義、武谷雄二、中村耕三<br>編集協力：小川純人 | 新しい骨粗鬆症治療                       | 診断と治療社       | 東京  | 2012 | 2-4     |
| 細井 孝<br>之 | 第13章 骨・運動器疾患  | (シリーズ監修) 奈良勲、鎌倉矩子<br>(編集) 大内尉義 | 標準理学療法学・作業療法学<br>専門基礎分野 老年学 第3版 | 医学書院         | 東京  | 2012 | 146-158 |

雑誌

| 発表者氏名   | 論文タイトル名  | 発表誌名                 | 巻数     | ページ       | 出版年  |
|---|--|----------------------|--------|-----------|------|
| Yoshioka M, Uchida Y, Sugiura S, Ando F, Shimokata H, Nomura H, Nakashima T | The impact of arterial sclerosis on hearing with and without occupational noise exposure; a population-based aging study in males                  | Auris Nasus Larynx   | 37(5)  | 558-564   | 2010 |
| Otsuka R, Imai T, Kato Y, Ando F, Shimokata H                               | Relationship between number of metabolic syndrome components and dietary factors in middle-aged and elderly Japanese subjects                      | Hypertens Res        | 33     | 548-554   | 2010 |
| Uchida Y, Sugiura S, Ando F, Nakashima T, Shimokata H                       | Diabetes reduces auditory sensitivity in middle age listeners more than in elderly listeners: A population-based study of age-related hearing loss | Med Sci Monit        | 16(7)  | 63-68     | 2010 |
| 竹村真里枝、松井康素、原田教、安藤富士子、下方浩史   | 一般住民における動脈硬化と骨粗鬆症の関連   | Osteoporosis Japan   | 18(2)  | 228-231   | 2010 |
| 下方浩史、安藤富士子  | 疾病予防のための理想的な生活、生活習慣改善による疾病予防—エビデンスを求めて   | 成人病と生活習慣病            | 40(9)  | 1026-1031 | 2010 |
| 下方浩史、安藤富士子  | 運動器疾患の長期縦断疫学研究、ロコモティブシンドロームと生活習慣病  | Progress in Medicine | 30(12) | 3021-3024 | 2010 |
| 安藤富士子、西田裕紀子、下方浩史  | 認知機能の加齢変化とアンチエイジング   | MB Med Rehab         | 124    | 105-113   | 2010 |
| 安藤富士子、西田裕紀子、下方浩史  | 認知機能の加齢変化—国立長寿医療センター研究所・老化に関する長期縦断疫学研究(NILS-LSA)より   | 日本抗加齢医学会雑誌           | 6(1)   | 16-22     | 2010 |
| 安藤富士子、下方浩史  | 高齢者の健康と果物～老化を防ぐカロテノイドの効用～  | 柑橘                   | 62(10) | 8-10      | 2010 |
| 大塚 礼、加藤友紀、安藤富士子、下方浩史  | メタボリックシンドローム構成要素の集積数からみた栄養摂取状況   | 血圧                   | 17(10) | 822-823   | 2010 |
| 下方浩史、安藤富士子、北村伊都子  | 地域住民における潜在性甲状腺機能異常の頻度と実態   | 日本内科学会雑誌             | 99(4)  | 686-692   | 2010 |
| 辻 一郎  | 運動による健康長寿の政策支援   | 日本抗加齢医学会雑誌           | 7(1)   | 53-56     | 2011 |

| 発表者氏名  | 論文タイトル名   | 発表誌名                                | 巻数     | ページ       | 出版年  |
|--|---|-------------------------------------|--------|-----------|------|
| 大森 芳、竇澤 篤、曾根稔雅、小泉弥生、中谷直紀、栗山伸一、鈴木修治、栗田主一、辻 一郎                                     | うつ状態と介護保険要支援・要介護認定リスクとの関連－鶴ヶ谷プロジェクト   | 日本公衆衛生学雑誌                           | 57(7)  | 538-549   | 2010 |
| Ohara Y, Hirano H, Yoshida H, Suzuki T   | Ratio and associated factors of dry mouth among community-dwelling elderly Japanese women.        | Geriatr Gerontol Int.               | 11     | 83-89     | 2011 |
| 松下健二   | 口腔のアンチエイジングとリハビリテーション   | Monthly Book Medical Rehabilitation | 124    | 127-134   | 2010 |
| 松下健二   | 高齢化社会の中でインプラントをどう考えるか？  | 歯界展望                                | 116(5) | 2010-2011 | 2010 |
| 松下健二   | 血管障害を基盤とした歯周病と糖尿病の関連性   | 肥満と糖尿病                              | 9(5)   | 729-731   | 2010 |
| 今井剛、西永正典、中村知子、奥宮清人、松林公藏、土居義典、松下健二  | 高齢者住民における保有歯数と認知機能  | 愛院大歯誌                               | 48     | 59-66     | 2010 |
| 今井剛、西永正典、松下健二  | 高齢者の残存歯数と認知機能との関連性  | 鹿児島大学医学雑誌                           | 61(3)  | 47-51     | 2010 |
| Takeda Y, Tanigawa N, Sunghwa F, Ninomiya M, Hagiwara M, Matsushita K, Koketsu M | Morroneiside cinnamic acid conjugate as an anti-inflammatory agent.                               | Bioorg Med Chem Lett                | 20     | 4855-4857 | 2010 |
| Abiko Y, Sato T, Matsushita K, Sakashita R, Takahashi N                          | Porphyromonas gingivalis is widely distributed in subgingival plaque biofilm of elderly subjects, | Interface Oral Health Science 2009  | 3      | 240-242   | 2010 |

| 発表者氏名   | 論文タイトル名  | 発表誌名               | 巻数    | ページ       | 出版年  |
|---|--|--------------------|-------|-----------|------|
| Masataka Shiraki,<br>Yasushi<br>Yamazaki,Yumiko<br>Shiraki,Takayuki<br>Hosoi,Naoko<br>Tsugawa,Toshio Okano  | High level of serum undercarboxylated osteocalcin in patients with incident fractures during bisphosphonate treatment  | J Bone Miner Metab | 28(7) | 578-584   | 2010 |
| Masataka Shiraki,<br>Tatsuhiko<br>Kuroda,Nobuaki<br>Miyakawa,Naohito<br>Fujinawa,Kazumasa<br>Tanzawa,Akiko<br>Ishizuka,Shiro<br>Tanaka,Yukari<br>Tanaka,Takayuki<br>Hosoi,Eiji Itoi,Shigeto<br>Morimoto,Akira<br>Itabashi,Toshitsugu<br>Sugimoto,Toshihiko<br>Yamashita,Itsuo<br>Gorai,Satoshi<br>Mori,Hideaki<br>Kishimoto,Hideki<br>Mizunuma,Naoto<br>Endo,Yoshiki<br>Nishizawa,Kunio<br>Takaoka,Yasuo<br>Ohashi,Hiroaki<br>Ohta,Masao<br>Fukunaga,Toshitaka<br>Nakamura,Hajime Orimo | Design of a pragmatic approach to evaluate the effectiveness of concurrent treatment for the prevention of osteoporotic fractures  | J Bone Miner Metab | 29(7) | 37-43     | 2011 |
| Shiro Tanaka,Noriko<br>Yoshimura,Tatsuhiko<br>Kuroda,Takayuki<br>Hosoi,Mitsuru<br>Saito,Masataka Shiraki  | The Fractura and Immobilization Score(FRISC) for risk assessment of osteoporotic Fracture and immobilization in postmenopausal women-A joint anaiysis of the Nagano,Miyama,and Taiji Cohorts | Bone               | 47(7) | 1064-1070 | 2010 |
| 金興烈、李成喆、森あさか、安藤富士子、下方浩史   | 歩行速度(無次元速度)の性差と年代差に関する考察   | 日本未病システム学会誌        |       |           | 2010 |
| 李成喆、金興烈、森あさか、安藤富士子、下方浩史   | 地域在住中高年者の下肢筋力と重心動揺の関連に関する横断的検討   | 日本未病システム学会誌        |       |           | 2010 |
| 安藤富士子、北村伊都子、金興烈、李成喆、下方浩史  | 潜在性慢性炎症と中高年者のサルコペニアに関する縦断的検討   | 日本未病システム学会誌        |       |           | 2010 |

| 発表者氏名   | 論文タイトル名   | 発表誌名                | 巻数     | ページ       | 出版年  |
|---|---|---------------------|--------|-----------|------|
| 森山雅子, 西田裕紀子, 丹下智香子, 富田真紀子, 安藤富士子, 下方浩史                                    | 地域在住中高年有職者の職種と仕事コミットメントおよび心理的健康との関連   | 日本未病システム学会誌         |        |           | 2010 |
| 丹下智香子, 西田裕紀子, 森山雅子, 富田真紀子, 安藤富士子, 下方浩史                                    | 成人中・後期における日常苛立ち事と主観的幸福感－LSI-K・CES-Dとの関連   | 日本未病システム学会誌         |        |           | 2010 |
| 加藤友紀, 大塚礼, 今井具子, 安藤富士子, 下方浩史  | 地域在住中高年者のアミノ酸摂取量が抑うつに及ぼす影響に関する縦断的研究   | 日本未病システム学会誌         |        |           | 2010 |
| 西田裕紀子, 丹下智香子, 森山雅子, 富田真紀子, 安藤富士子, 下方浩史                                    | 地域在住中高年男性における定年退職後の就労と知能に関する縦断的検討   | 日本未病システム学会誌         |        |           | 2010 |
| 安藤富士子, 小坂井留美, 下方浩史  | 自覚的健康度(SRH)が知能に及ぼす影響－地域在住中高年者における8年間の縦断的検討  | 日本未病システム学会誌         |        |           | 2010 |
| Otsuka R, Kato Y, Imai T, Ando F, Shimokata H                             | Decreased sodium intake in Japanese male 40- to 70-year-old and female 70- to 79 year-old: A 10-year longitudinal study                                     | J Am Diet Assoc     | 111    | 844-850   | 2011 |
| Doyo W, Kozakai R, Kim H-Y, Ando F, Shimokata H                           | Spatio-temporal components of the three-dimensional gait analysis of community-dwelling middle-aged and elderly Japanese: age- and sex-related differences  | Geriat Gerontol Int | 11(1)  | 39-49     | 2011 |
| 下方浩史, 安藤富士子   | 運動器疾患の長期縦断疫学研究－運動器科学の新時代  | 医学のあゆみ              | 236(5) | 319-324   | 2011 |
| Kuzuya M, Enoki H, Hasegawa J, Izawa S, Hirakawa Y, Shimokata H, Iguchi A | Impact of caregiver burden on adverse health outcomes in community-dwelling dependent older care recipients.  | Am J Geriat Psych   | 19(4)  | 382-391   | 2011 |
| 下方浩史  | 高齢者の疾病－疫学、臨床的特徴   | 日本医事新報              | 4544   | 42-45     | 2011 |
| Sugiura M, Nakamura M, Ogawa K, Ikoma Y, Ando F, Shimokata H, Yano M      | Dietary patterns of antioxidant vitamin and carotenoid intake associated with bone mineral density: findings from post-menopausal Japanese female subjects. | Osteoporosis Int    | 22     | 143-152   | 2011 |
| 下方浩史, 安藤富士子   | サルコペニアの疫学   | Modern Physician    | 31(11) | 1283-1287 | 2011 |

| 発表者氏名   | 論文タイトル名   | 発表誌名                           | 巻数     | ページ                 | 出版年  |
|---|---|--------------------------------|--------|---------------------|------|
| 下方浩史、安藤富士子  | 虚弱の危険因子、高齢者の虚弱—評価と対策—   | Geriatric Medicine             | 49(3)  | 303-306             | 2011 |
| 下方浩史、安藤富士子  | 軽度～中程度認知症医療における問題点と課題   | Progress in Medicine           | 31     | 1833-1837           | 2011 |
| 安藤富士子、加藤友紀、下方浩史   | 高齢者のうつと栄養. 病院・施設・在宅を結ぶ高齢者の栄養ケア  | 臨床栄養                           | 118(6) | 570-574             | 2011 |
| Saito, K., Yokoyama, T., Yoshida, H., Kim, H., Shimada, H., Yoshida, Y., Iwasa, H., Shimizu, Y., Yoshitaka, K., Handa, S., Maruyama, N., Ishigami, A., Suzuki, T. | A significant relationship between plasma vitamin C concentration and physical performance among Japanese elderly women.    | J Gerontol A Biol Sci Med Sci. |        | Epub ahead of print | 2012 |
| Haraikawa M, Sogabe N, Hosoi T, Tanabe R, Goseki-Sone M   | Vitamin K1 (Phylloquinone) or Vitamin K2 (Menaquinone-4) Induces Intestinal Alkaline Phosphatase Gene Expression.           | J Nutr Sci Vitaminol           | 57     | 274-279             | 2011 |
| 松下健二  | 歯周病と炎症  | The bone                       | 25     | 415-420             | 2011 |
| Sugiura S, Ishihara Y, Komatsu T, Hagiwara M, Tanigawa N, Kato Y, Mizutani H, Kawahara K, Maruyama I, Noguchi T, Matsushita K                                     | Valproic acid increases susceptibility to endotoxin shock through enhanced release of HMGB1.                                | Shock                          | 36     | 494-500             | 2011 |
| Iohara K, Imabayashi K, Ishizaka R, Watanabe A, Nabekura J, Ito M, Matsushita K, Nakamura H, Nakashima M  | Complete pulp regeneration after pulpectomy by transplantation of CD105+ stem cells with SDF-1.                             | Tissue Eng Part A              | 17     | 1911-1920           | 2011 |
| Sugiyama M, Iohara K, Wakita H, Hattori H, Ueda M, Matsushita K, Nakashima M  | Dental Pulp Derived CD31-/CD146- Side Population Stem/Progenitor Cells Enhance Recovery of Focal Cerebral Ischemia in Rats. | Tissue Eng Part A              | 17     | 1303-1311           | 2011 |
| Kanno Y, Ishisaki A, Nakajima K, Nishihara T, Toyoshima T, Okada K, Ueshima S, Matsushita K, Matsuo O, Matsuno H  | Plasminogen/plasmin modulates bone metabolism by regulating the osteoblast and osteoclast function.                         | J Biol Chem,                   | 286    | 8952-8960           | 2011 |
| 杉浦進介, 石原裕一, 小松寿明, 萩原真, 水谷大樹, 加藤佳子, 野口俊英, 松下健二   | バルプロ酸はHMGB1の能動放出を誘導して、エンドトキシンショックに対する感受性を高める  | エンドトキシン研究                      | 14     | 57-60               | 2011 |
| Tanigawa N, Takeda Y, Sunghwa F, Ninomiya M, Hagiwara M, Koketsu M, Matsushita K  | Morrisonide derivative regulates E-selectin expression in human endothelial cells.  | Interface Oral Health Science  |        | 161-163             | 2011 |

| 発表者氏名  | 論文タイトル名   | 発表誌名                          | 巻数 | ページ     | 出版年  |
|--|---|-------------------------------|----|---------|------|
| 安藤富士子、今井具子、加藤友紀、大塚礼、松井康素、竹村真里枝、下方浩史  | 血清カロテノイドが2年後の骨粗鬆症／骨量減少発症リスクに及ぼす影響   | 日本未病システム学会雑誌                  | 18 | 89-92   | 2012 |
| 李成喆、幸篤武、森あさか、丹下智香子、安藤富士子、下方浩史  | 地域在住高齢者の身体活動と認知機能に関する縦断的研究  | 日本未病システム学会雑誌                  | 18 | 3-42    | 2012 |
| 丹下智香子、西田裕紀子、富田真紀子、安藤富士子、下方浩史   | 成人後期における日常生活活動能力と主観的幸福感の関連に認知機能が及ぼす影響   | 日本未病システム学会雑誌                  | 18 | 68-71   | 2012 |
| Kozakai R, Ando F, Kim HY, Rantanen T, Shimokata H   | Regular exercise history as a predictor of exercise in old age among community-dwelling Japanese older people                               | J Phys Fitness Sports Med     | 1  | 1-8     | 2012 |
| Terabe Y, Harada A, Tokuda H, Okuizumi H, Nagaya M, Shimokata H                                    | Vitamin D Deficiency in Elderly Women in Nursing Homes: Investigation with Consideration of Decreased Activation Function from the Kidneys. | J Am Geriatr Soc              | 60 | 251-255 | 2012 |
| Shimada H, Kato T, Ito K, Makizako H, Doi T, Yoshida D, Shimokata H, Washimi Y, Endo H, Suzuki T   | Relationship between atrophy of the medial temporal areas and cognitive Functions in elderly adults with mild cognitive impairment          | Eur Neurol                    | 67 | 168-177 | 2012 |
| 加藤友紀、大塚礼、今井具子、安藤富士子、下方浩史   | 地域在住中高年者の微量ミネラルおよびビオチンの摂取量  | 日本栄養・食糧学会誌                    | 65 | 21-28   | 2012 |
| 内田育恵、杉浦彩子、中島務、安藤富士子、下方浩史   | 全国高齢難聴者数推計と10年後の年齢別難聴発症率－老化に関する長期縦断疫学研究（NILS-LSA）より   | 日老医誌                          | 49 | 222-227 | 2012 |
| 杉浦彩子、内田育恵、中島務、西田裕紀子、丹下智香子、安藤富士子、下方浩史   | 高齢者の耳垢の頻度と認知機能、聴力との関連   | 日老医誌                          | 49 | 315-329 | 2012 |
| Wada-Isoe K, Uemura Y, Nakashita S, Yamawaki M, Tanaka K, Yamamoto M, Shimokata H, and Nakashima K | Prevalence of Dementia and Mild Cognitive Impairment in the Rural Island Town of Ama-cho, Japan   | Dement Geriatr Cogn Dis Extra | 2  | 190-199 | 2012 |
| 西田裕紀子、丹下智香子、富田真紀子、安藤富士子、下方浩史   | 中高年者の開放性が知能の経時変化に及ぼす影響：6年間の縦断的検討  | 発達心理学研究                       | 23 | 276-286 | 2012 |

| 発表者氏名  | 論文タイトル名  | 発表誌名               | 巻数    | ページ       | 出版年  |
|--|--|--------------------|-------|-----------|------|
| 西田裕紀子, 丹下智香子, 富田真紀子, 安藤富士子, 下方浩史   | 高齢者の抑うつはその後の知能低下を引き起こすか：8年間の縦断的検討  | 老年社会科学             | 34    | 371-381   | 2012 |
| Matsui Y, Takemura M, Harada A, Ando F, Shimokata H                                      | Divergent significance of bone mineral density changes in aging depending on sites and sex revealed through separate analyses of bone mineral content and area | J Osteoporos       | 2012  | 1-6       | 2012 |
| 下方浩史, 安藤富士子  | 日常生活機能と骨格筋量、筋力との関連   | 日老会誌               | 49    | 195-198   | 2012 |
| 下方浩史, 安藤富士子  | 認知症の実態と予防の重要性  | 日本未病システム学会雑誌       | 18    | 79-83     | 2012 |
| Shimokata H, Ando F  | Aging-related genotype   | Anti-Aging Med     | 9     | 185-191   | 2012 |
| Yuki A, Lee SY, Kim H, Kozakai R, Ando F, Shimokata H                                    | Relationship between physical activity and brain atrophy progression   | Med Sci Sport Exer | 44    | 2362-2368 | 2012 |
| 松井康素, 竹村真里枝, 原田教, 安藤富士子, 下方浩史  | 地域在住中高齢者の膝関節変形と膝伸展筋力との関連   | Osteoporosis Japan | 20(2) | 254-256   | 2012 |
| Hida T, Ishiguro N, Shimokata H, Sakai Y, Matsui Y, Takemura M, Terabe Y, Harada A       | High prevalence of sarcopenia and reduced leg muscle mass in Japanese patients immediately after a hip fracture  | Geriat Geront Int  |       |           | 印刷中  |
| Doi T, Shimada H, Makizako H, Yoshida D, Shimokata H, Ito K, Washimi Y, Endo H, Suzuki T | Characteristics of Cognitive Function in Early and Late Stages of Amnesic Mild Cognitive Impairment  | Geriat Geront Int  |       |           | 印刷中  |
| Lee SC, Yuki A, Nishita Y, Tange C, Kim HY, Kozakai R, Ando F, Shimokata H               | The Relationship Between Light Intensity Physical Activity and Cognitive Function in a Community-Dwelling Elderly population - 8 year longitudinal study       | J Am Geriat Soc    |       |           | 印刷中  |

| 発表者氏名  | 論文タイトル名  | 発表誌名              | 巻数    | ページ       | 出版年  |
|--|--|-------------------|-------|-----------|------|
| Otsuka R, Kato Y, Imai T, Ando F, Shimokata H  | Higher serum EPA or DHA, and lower ARA compositions with age independent of fatty acid intake in Japanese aged 40 to 79  | Lipids            |       |           | 印刷中  |
| 安藤富士子, 大塚礼, 北村伊都子, 甲田道子, 下方浩史  | 「かくれメタボ」の日本人有所見者数の推計-無作為抽出地域住民コホートNILS-LSAから   | 日本未病システム学会雑誌      |       |           | 印刷中  |
| 丹下智香子, 西田裕紀子, 富田真紀子, 安藤富士子, 下方浩史   | 成人後期の主観的幸福感に対する配偶者の有無と対人関係の影響  | 日本未病システム学会雑誌      |       |           | 印刷中  |
| 堀川千賀, 大塚礼, 加藤友紀, 河島洋, 柴田浩志, 安藤富士子, 下方浩史  | トリグリセリド高値の者における血清脂肪酸の特徴 ～地域在住の中老年男女における検討～   | 日本未病システム学会雑誌      |       |           | 印刷中  |
| Miyamoto Y, Noguchi H, Yukawa H, Oishi K, Matsushita K, Iwata H, Hayashi S                                 | Cryopreservation of Induced Pluripotent Stem Cells.  | Cell Med          | 3     | 89-95     | 2012 |
| Komatsu T, Nagano K, Sugiura S, Hagiwara M, Tanigawa N, Abiko Y, Yoshimura F, Furuichi Y, and Matsushita K | E-selectin Mediates Porphyromonas gingivalis Adherence to Human Endothelial Cells.   | Infect Immun      | 80    | 2570-2576 | 2012 |
| 多田浩之, 島内英俊, 松下健二   | Porphyromonas gingivalis ジンジパインによるヒト歯肉上皮細胞におけるIL-33発現誘導  | エンドトキシン・自然免疫研究    | 15    | 45-48     | 2012 |
| 松下健二   | 健康寿命の鍵は、口の健康！ 歯周病と全身の密接な関係   | 歯っぴいスマイル          | 20    | 5-7       | 2012 |
| Kim HK, Suzuki T, Saito K, Yoshida H, Kobayashi H, Kato H, Katayama M                                      | Effects of exercise and amino acid supplementation on body composition and physical function in community-dwelling elderly Japanese sarcopenic women: a randomized controlled trial. | J Am Geriatr Soc. | 60(1) | 16-23     | 2012 |

| 発表者氏名  | 論文タイトル名  | 発表誌名                      | 巻数     | ページ      | 出版年  |
|--|--|---------------------------|--------|----------|------|
| Hozawa A, Sugawara Y, Tomata Y, Kakizaki M, Tsuboya T, Ohmori-Matsuda K, Nakaya N, Kuriyama S, Fukao A, Tsuji I.                             | Relationship between serum isoflavone levels and disability-free survival among community-dwelling elderly individuals: nested case-control study of the Tsurugaya Project. Journal of Gerontology | A Biol Sci Med Sci        |        |          | 印刷中  |
| Kakizaki M, Kuriyama S, Nakaya N, Sone T, Nagai M, Sugawara Y, Hozawa A, Fukudo S, Tsuji I   | Long sleep duration and cause-specific mortality according to physical function and self-rated health: the Ohsaki Cohort Study   | Journal of Sleep Research |        |          | 印刷中  |
| Tomata Y, Kakizaki M, Nakaya N, Tsuboya T, Sone T, Kuriyama S, Hozawa A, Tsuji I.  | Green tea consumption and the risk of incident functional disability in elderly Japanese: the Ohsaki Cohort 2006 Study   | Am J Clin Nutr            | 95(3)  | 732-739  | 2012 |
| Nagai M, Kuriyama S, Kakizaki M, Ohmori-Matsuda K, Sone T, Hozawa A, Kawado M, Hashimoto S, Tsuji I  | Impact of obesity, overweight and underweight on life expectancy and lifetime medical expenditures: the Ohsaki Cohort Study  | BMJ Open                  | 11     | 2-4      | 2012 |
| Taki Y, Thyreau B, Kinomura S, Sato K, Goto R, Wu K, Kakizaki M, Tsuji I, Kawashima R, Fukuda H  | Correlation between high-sensitivity C-reactive protein and brain gray matter volume in healthy elderly subjects   | Hum Brain Mapp            |        |          | 印刷中  |
| Niu K, Hozawa A, Guo H, Ohmori-Matsuda K, Cui Y, Ebihara S, Nakaya N, Kuriyama S, Tsuboya T, Kakizaki M, Ohru T, Arai H, Tsuji I, Nagatomi R | C-reactive protein (CRP) is a predictor of high medical-care expenditures in a community-based elderly population aged 70 years and over: The Tsurugaya project                                    | Arch Gerontol Geriatr     | 54(3)  | e392-397 | 2012 |
| 曾根稔雅, 辻一郎, 他   | 介護予防サービス利用者における日常生活の過ごし方と要介護認定等の推移との関連   | 日本衛生学雑誌                   | 67(3)  | 401-407  | 2012 |
| 細井 孝之  | 骨粗鬆症講座 Q&A ガイドラインの改訂   | O.Li.V.E.                 | 2(2)   | 20-25    | 2012 |
| 細井 孝之  | 骨粗鬆症の薬物療法の新戦略 アレンドロネート   | 関節外科基礎と臨床                 | 31(6)  | 48-52    | 2012 |
| 細井 孝之  | 骨粗鬆症   | Modern Physician          | 29     | 252-256  | 2012 |
| 細井 孝之  | 骨粗鬆症   | 青淵                        | No.755 | 14-16    | 2012 |
| 細井 孝之  | 骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2011年版  | Ortho community           | 43     | 11-12    | 2012 |
| 細井 孝之  | 臨床 骨折リスク評価ツール「FRAX」の日本人への応用  | ORTHO-VIEWS               | 15     | 6-7      | 2012 |

| 発表者氏名                   | 論文タイトル名   | 発表誌名               | 巻数      | ページ       | 出版年  |
|-------------------------|---|--------------------|---------|-----------|------|
| 細井 孝之                   | 特集 骨粗鬆症診療に関する新しい展開 骨粗鬆症治療における薬物治療介入のポイント (2011年改訂版ガイドラインの考え方)       | 内分泌・糖尿病・代謝内科       | 34(5)   | 410-414   | 2012 |
| 細井 孝之                   | 5.特集 骨粗鬆症治療薬のBreakthrough-ガイドライン2011年版を踏まえてー骨折リスク評価の実際とFRAX         | MEDICINA L         | 2(8)    | 43-48     | 2012 |
| 細井 孝之                   | 特集: 知っておきたい最新骨粗鬆症診療マニュアル<br>骨折危険因子から                                | Orthopaedics       | 25(5)   | 25-30     | 2012 |
| 細井 孝之                   | マンスリーレクチャー<br>老年内科 標榜をめざして  | 週刊 日本医事新報          | No.4605 | 41-45     | 2012 |
| 細井 孝之                   | 骨粗鬆症の治療ー新たな薬物治療開始基準   | CLINICIAN          | 59(610) | 38-43     | 2012 |
| 細井 孝之                   | 特集: 骨密度測定の再考<br>MD法(最新の+DIPシステムについて)                                | 骨粗鬆症治療             | 11(1)   | 14-18     | 2012 |
| 細井 孝之                   | 特集: 「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2011年版」を踏まえた今後の骨粗鬆症治療                          | 骨粗鬆症治療             | 10(4)   | 10-14     | 2012 |
| 細井 孝之                   | 特集: 変わる骨粗鬆症治療ー内科医が知っておきたい最新トピックから基本的知識までー<br>骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2011年版 | Mebio              | 29(5)   | 41-46     | 2012 |
| 細井 孝之                   | 特集「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2011」をめぐって<br>FRAXのわが国での活用                       | CLINICAL CALCIUM   | 22(6)   | 73-79     | 2012 |
| 細井 孝之                   | シリーズ よく使う日常治療薬の正しい使い方<br>骨粗鬆症に対する薬の使い方                              | レジデントノート           | 14(10)  | 1927-1930 | 2012 |
| 細井 孝之                   | 骨折リスクに基づいた骨粗鬆症の診断と対策の実際<br>既存骨折と骨折リスク                               | Modern Physician   | 29(11)  | 1886-1890 | 2012 |
| 細井 孝之                   | ロコモティブシンドロームの予防と骨粗鬆症  | 日本未病システム学会         | 18(3)   | 74-78     | 2012 |
| 宗圓聰、福永仁夫、杉本利嗣、曾根照喜、細井孝之 | 診断基準の改定に向けてー骨粗鬆症診療の新たな展開をめざして                                       | Osteoporosis Japan | 20(4)   | 629-32    | 2012 |